

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和2年度第2回みよし市まち・ひと・しごと創生会議		
開催日時	令和2年10月5日(月) 午後2時から午後3時50分まで		
開催場所	みよし市役所 3階 研修室1・2・3		
出席者	(出席者)丸山一芳、阿部亮吾、岡本貞之、岩田信男、鰐部兼道、野村浩、湊裕、伊藤欽治、野田一弘、二子石勝、竹内友基、岡澤圭悟、加藤亮二 ※敬称略 (みよし市) 小野田市長、酒井副市長、村田政策推進部長、澤田政策推進部参事 (事務局) 富田政策推進部次長兼企画政策課長、近藤副主幹、金丸副主幹、押領司主任主査、森主事		
次回開催予定日	令和3年1月(予定)		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 押領司 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
典 礼 富田課長	定刻になりましたので、ただいまから令和2年度第2回みよし市まち・ひと・しごと創生会議を開催します。お送りさせていただきました本日の出席者の名簿につきまして、修正をいたしましたので、再度机の上に配布させていただいております。お手数ですが差し替えをお願いします。また、追加で資料を準備しましたので、机の上に配布させていただいております。 第1回創生会議につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催とさせていただきます。 第1期総合戦略の検証などにつきまして、多くのご意見をいただきありがとうございます。内容につきまして取りまとめを行い、本市の対応を記載した資料の送付をさせていただいております。 それでは、会議に先立ちまして、市長よりあいさつを申し上げます。		
市長	出席者の皆様には、何かとお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。 日頃は、本市の行政運営に対し、それぞれのお立場で格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。 本日の会議では、第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案をご提示させていただきますので、その内容についてご審議いただきたいと思います。 当初は6月頃に第1回創生会議を開催予定でありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、書面会議とさせていただきます。皆様から様々なご意見をいただき、本日の資料の素案につきましては、可能な限りご意見を盛り込んだ内容となっております。 新型コロナウイルスの感染拡大に対する、本市独自の取組といたしまして、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した方を対象に、1人あたり10		

<p>市長</p>	<p>万円を支給する「臨時特別出産子育て支援金事業」や、小学校の学級の3密を少しでも解消するため、小学校の1学級を35人から28人程度とする「小学校学級分散事業」など、国や県の交付金を活用しながら、財政調整基金11億円を投じて、積極的に新型コロナウイルス感染症の支援を進めております。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大に対する経済対策として、7月上旬から「飲食店応援食事券」を60,000冊、8月下旬から「市制施行10周年記念プレミアム付き商品券」を20,000冊発行し、現在市民の方々に利用していただいております。</p> <p>出席者の皆様には、格別のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。</p>
<p>典 礼 富田課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>市長はこの後、公務がありますので、ここで退出させていただきます。それでは議事に入ります。要綱第4条第1項の規定により、会議の進行は政策推進部長が行うこととなっておりますので、進めさせていただきます。</p>
<p>村田政策推進部長</p>	<p>皆様お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。出席者につきましては、お手元の名簿でご確認をいただきたいと思っております。それでは、議事に入りたいと思っております。</p> <p>議題は第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定についてです。まずは、「人口ビジョン」につきまして事務局から説明させていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>企画政策課の押領司と申します。ここからは、座ってご説明させていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>資料の説明を進める前に、第1回創生会議がコロナ禍のため書面会議とさせていただいたので、まずは地方創生についてと本会議の趣旨について説明させていただきます。</p> <p>地方創生とは、出生率の低下による人口減少に歯止めをかけることと、東京一極集中の是正のために、それぞれの地域で住みよい環境を確保することで、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的にしています。</p> <p>その方向性を示すため、国において平成26年に「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、令和元年に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」がそれぞれ閣議決定されました。</p> <p>本市でも国や県の総合戦略を勘案し、「子育て支援に関すること」、「住み続けたいと思える環境をつくること」、「健康に関すること」に特化した平成27年度から5か年を計画期間とし、「第1期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して様々な施策を進めてきました。</p> <p>第1期の内容につきましては、書面会議の際に参考にご送付させていただいた冊子の資料となります。</p> <p>現在の総合戦略の策定状況は、第1期の総合戦略を令和2年度末までに延長しています。</p> <p>理由としましては、令和元年度に策定された国や県の総合戦略を勘案した第2期総合戦略を策定することと、総合戦略の策定期間に切れ目が生じさせないためであります。</p> <p>1年延長した期間中（令和2年度中）に第2期の総合戦略策定の準備を進めている最中であります。</p> <p>本会議の趣旨としましては、総合戦略策定や結果の検証の際には、地方公共団体が社会・経済状況の変化を捉え地域の将来像を考える観点から、市民をはじめ産業界や行政機関、教育機関、労働団体、金融機関などの様々な外部有識者の意見を聞きながら策定することが必要であると示されています。</p> <p>今回出席していただいている皆様につきましては、本市が意見を聞くことが必要であると考えている団体の代表者であると考えていますので、それぞれのお立場でご意見をいただければと思っています。</p> <p>地方創生の総論や総合戦略策定の目的、本日の会議の趣旨につきましては、以</p>

上でございます。

それを踏まえて、資料の説明をさせていただきたいと思えます。

第1回書面会議にて考え方についてはお示しさせていただいておりますが、再度、確認のために方向性につきまして説明させていただきます。

まず、第1期の人口ビジョンについては、【合計特殊出生率及び移動率の維持=自然増を促進し社会減を抑制】することを目標にし、2060年に64,000人の人口規模を維持し、2045年にピーク人口66,000人を目指すものとししました。

第2期の考え方につきましては、第1回書面会議の資料として送付させていただいた内容でございますが、第2期みよし市人口ビジョンの策定年度が第2次みよし市総合計画策定年度に近いこと、住民基本台帳の実績値をベースにした推計では、第2次みよし市総合計画人口見通しを若干上回る程度の推計となったこと、第2期総合戦略の策定により第2次みよし市総合計画の目標年次の65,000人達成を目指すことにより、第2期みよし市人口ビジョンは、第2次みよし市総合計画人口見通しに沿うものとし、2038年に65,000人の人口を目指すものとするものとししました。

今説明した内容の詳細を現状分析のデータ付きで示したものが「資料No1」となりますので、そちらをご覧ください。

この冊子が総合戦略に位置づけをする施策を実施することで、目指すべき人口の考え方を示した資料となります。

1ページから5ページまでは、様々な角度から本市の人口推移を検証したデータを記載しています。出典は主に国勢調査や国の統計調査を用いています。

1ページには昭和30年からの人口の推移と年齢の3区分別人口構成です。本市の人口については昭和30年以降一貫して増加し続けています。ただし、図表2のとおり2015年には年少人口割合と老年人口割合が逆転し、高齢化が進んでいることが分かります。

2ページお願いします。

こちらは、自然増減と社会増減の推移とその関係を示しています。

図表3・4のとおり2018年までは人口増の状態が続いていましたが、その増加率は緩やかな減少傾向になり、2019年には人口減少の領域に突入したことが分かります。

3ページお願いします。

2010から2015年における過去5年間の本市への移動状況を示しています。本市への転入者の転入元につきましては、グラフの左側のとおり、資料のとおり県内が最多であります。人口の移動状況については、グラフの右側のとおり、転入・転出ともに豊田市が多く、次いで日進市、東郷町が多くなっています。

社会増減の転入超過では豊田市、刈谷市、豊明市が増加であり、一方転出超過については、日進市、東郷町、長久手市となっています。

次に4ページお願いします。

図表6に合計特殊出生率の推移と図表7に出生数の推移を掲載しています。

合計特殊出生率とは、15から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したのになります。

聞きなれない用語につきましては、資料2の冊子の最後に用語解説を記載して説明をしています。後ほどご確認いただければと思います。

本市の直近の合計特殊出生率は1.80となっています。なお、第1期策定時は1.81であり、この5年間でそこまでの乖離はなかったので、第1期の人口ビジョンで示した合計特殊出生率の維持という目標については、ほぼ達成できたと思えます。

次に出生数ですが、ここ2年では600人を割れて500人台で推移しています。こちらは15歳から49歳までの女性そのものの減少というのが影響していると考えられます。

後ほど説明しますが、この2つの数値につきましては、第2期総合戦略の基本目標の数値目標として考えております。

次に5ページお願いします。

図表8・図表9については、外国人人口推移とその年齢階級別の推移となりま

事務局	<p>す。資料のとおり年々増加していますが、増加率については鈍化している状況となります。</p> <p>6ページご確認ください。</p> <p>第2期人口ビジョンを第2次総合計画の人口見通しに設定した理由について、データを用いて記載しております。</p> <p>第1期人口ビジョンでは冒頭説明したとおり、2045年に人口66,000人を目指すことにしました。</p> <p>実績値を基にコーホート要因法を用いて本市独自の推計した人口については、第2次総合計画の人口見通しと同様の傾向が見られるため、第2次総合計画の人口見通しを人口将来展望とすることにしていきます。</p> <p>7ページがその将来展望を示したページとなります。</p> <p>目指すべき方向性としましては、第1期に引き続き【合計特殊出生率及び移動率の維持＝自然増を促進し社会減を抑制】を目指すことにし、2038年に65,000人の人口を目指すことにしております。</p> <p>最後になりますが、それを達成するための視点として、Ⅰ「若い世代の就労・結婚・子育て・教育などの生活環境基盤の整備」を進めること、Ⅱ「若年層を中心とした生産年齢人口の転入・定住の促進」、Ⅲ「健康寿命の一層の延伸」の3つの基本的視点を設定し、総合戦略策定の基本的な考え方としています。</p> <p>色々説明しましたが、結論としましては、第2期人口ビジョンは、様々な検証を基に、第2次総合計画の人口見通しの数値を採用し、施策を展開することで目標を達成したいと考えています。</p>
村田政策推進部長	<p>ただいまの事務局の説明のとおり、第2期人口ビジョンの考え方につきましては、第2次みよし市総合計画を策定して間もないということもあり、そちらの数値を目標にしていくことにしていますので、再度ご確認ください。</p> <p>何かご質問がありますでしょうか。</p> <p>特に無いようですので、また、何かありましたら、後ほどの質疑応答でもよろしく申し上げます。</p> <p>続きまして「第2期総合戦略」につきまして、事務局より説明いたします。</p>
事務局	<p>資料No2をご確認ください。</p> <p>1ページお願いします。資料のとおり第1節では総合戦略の目的を述べています。</p> <p>内容は地方創生の目的、国の考え方、市の考え方をそれぞれ記載しています。</p> <p>最後の段落で「子育てできる環境の向上」、「暮らしたいと思える環境づくり」「誰もが健康に暮らせる環境の充実」の3つの基本目標となる観点を記載しております。</p> <p>2ページには総合戦略の位置づけです。</p> <p>資料下段の図を確認お願いします。冒頭でも説明しましたが、まず、地方版総合戦略につきましては、国や県の総合戦略を勘案して策定することが必要であるので、図の左側にそれを踏まえていることを明記しています。</p> <p>また、第2次総合計画と第2期総合戦略の関係性については、相互に整合性が図られており、総合戦略は第2次総合計画の目標を達成するために寄与するとしています。</p> <p>総合戦略の内容は「子育て」「住み続けたい」「健康」というテーマになりますが、特に第2期総合戦略の新たな視点としては、図の右下の部分にあるとおり、「デジタルの視点」「関係人口、交流人口」、「新しい生活様式」、「SDGs」それぞれの視点を持って策定することとしています。</p> <p>3ページお願いします。</p> <p>第3節として、総合戦略と総合計画の関係性と、総合戦略の計画期間の説明と</p>

なります。先ほど関係性について説明したので、内容につきましては資料でご確認ください。また、第4節の計画期間につきましては、資料のとおり令和3年度から令和7年度までの5年間としております。

次に4から6ページお願いします。

第5節として第1期総合戦略の検証についてです。基本目標ごとに検証結果を記載しています。内容につきましては、補足資料としてA3横「参考2」という資料を机上に配布していますので、ご確認くださいと思います。

こちら第1回書面会議で配布した資料となります。第1期総合戦略の「基本目標」と「基本的施策」の実績資料となります。

第1期総合戦略は基本目標として

- I 安心して子育てできる環境づくり
- II 暮らしたいと思える環境づくり
- III 誰もが健康に暮らせる環境づくりの3つを設定しておりました。

その下に基本的施策を設定しそれぞれ資料のとおり数値目標を設定することで施策の達成度を図ることとしていました。

資料の見方につきましては、それぞれの目標に対して達成できていれば赤色で、未達成の場合は緑色でその達成率をパーセンテージで記しています。

また、それぞれの達成割合に応じて「S」、「A」、「B」、「C」の4段階の評価をしています。

資料No2の4ページから6ページに戻ります。

こちらが、先ほどの「参考2」内容の総括資料となります。結果につきましては、資料のとおりですが、各基本的施策の評価結果は「S」、「A」が70%以上ありますが、基本目標の評価は「B」、「C」の評価であり、各基本的施策の目標達成が基本目標の達成には直接的に影響していません。この部分についてが、第1期総合戦略を検証した際の課題として認識しています。

7ページお願いします。

こちらは総合戦略に位置付けた施策の具体的な進め方になります。

まち・ひと・しごと創生を実現させるためには、PDCAサイクルを確立することが必要であるとされていることから、第1期総合戦略と同様にPDCAサイクルに基づく管理を実施していきます。詳細は資料での確認をお願いします。

8ページお願いします。

4ページから6ページまでの第1期総合戦略の基本目標の評価が「B」、「C」であったという反省を踏まえ、第2期総合戦略の基本目標につきましても、第1期の基本目標を踏襲することとしております。

第6節としては第2期総合戦略への方向性を記しています。

先ほどご説明しましたが、基本目標は第1期を踏襲することにしていますので、目標は第1期同様となります。

各目標の方向性につきましては、資料のとおりとなりますが、基本目標Iでは安心して子育てできる環境づくりとして、出産に対する支援の充実や教育現場におけるICTの活用や少人数学級といった新しい生活様式を取り入れた学校教育の充実、育児サポートの充実の推進に取り組みたいと思います。

基本目標IIでは、多様な世代を引きつけるための仕組みづくりや、公共交通の利用環境の向上や関係人口、交流人口を増加させる魅力あるまちづくりの推進に取り組みたいと思います。

また、関係人口、交流人口につきましては、最終ページの用語解説にも記載していますが、定住する人ではなく、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことでもあります。

9ページお願いします。

第7節として施策の体系となります。第2期総合戦略では、新しい視点を加えて資料のとおり基本目標を位置づけします。

目標は先ほどの説明のとおり、第1期と同様となりますが、次ページ以降の基本的施策を基に各基本目標にSDGsのアイコンを配置しています。

次からが本会議のメインとなります。

次に10ページから22ページまでに「人口ビジョン」や「第2期総合戦略」の目標を達成するための具体的な取組と数値目標である重要事業評価指標のKPIを記載しています。

このKPIにつきましても最終に用語解説を掲載しています。目標の度合いを図るために、継続的に計測・監視することができる定量的な指標のことであります。

それに加え、基本目標ごとにSDGsのアイコンを配置していることと、基本的施策に位置づけする取組内容のコメントを記しています。

今回の資料では数値目標は入れていません。本日は設定する内容につきましてご確認いただき、その後、庁内で数値目標を設定して次回の会議で最終的に数値設定につきましてご確認いただこうと考えております。

基本目標Iから順番に確認させていただきます。

まず、基本目標I 安心して子育てできる環境づくりです。資料としましては、10ページから14ページになります。

基本目標の数値目標は「合計特殊出生率」と「出生数」を設定しています。少子高齢化の是正という地方創生の本来の目的を考えると、この2つの数値の向上が不可欠であると考えているので、第2期総合戦略の目標として設定しました。ただし、国の合計特殊出生率の数値については5年ごとにしか公表されないもので、本市単年で集計している数値を利用し、進捗の確認を進めていきたいと思っております。単年の数値が向上すれば、最終国が公表する数値も向上するという考え方で進捗管理をしていきたいと思っております。

それにかかわる基本的施策については、11ページの①子ども・子育てに関する支援 13ページの②学校教育の充実 14ページの③仕事と生活の調和に関する支援の3つを位置づけしました。

それぞれの基本的施策の下に取組内容を位置づけしています。考え方としては、第1期総合戦略で評価が低かった項目については、第2期でも引き続き継続して施策展開をして、目標を達成できたものについては、その項目の拡充や新たな施策を追加しています。

特に新たに追加する施策についてご説明いたします。

11ページの①子ども・子育てに関する支援では、これまでの支援に加え、①の多胎児世帯への支援を実施すること、③任意予防接種費の助成をすること、⑥図書館の蔵書数を計画的に充実させることで子育てに関する支援を実施します。

①のKPIにつきましては、資料のとおり4つの指標を用いて充実の度合いを図っていききたいと思っております。なお、KPI中「みよびよ」につきましては、本市が運用している子育て支援アプリのことであり、こちらに登録してもらおうと子育て支援に関するニュースや「子育ての困った」に役立つ情報を掲載しているので、こちらの登録者数を増やすことが施策進捗の確認に適した指標であると考えております。

また、乳幼児健診の受診率や家庭訪問の率を高めることで、子育て支援の充実度を図る指標に適したものであると考えています。

次に13ページ②学校教育の充実では、これまでの支援に加え、①の新しい生活様式に対応した教育環境の充実やICTを活用した②いじめや不登校の減少に向け、相談体制の一層の充実を図ることを実施します。

②の基本的施策についてのKPIについては、資料のとおり3つ（細かくは6つ）が適していると考えそれぞれ設定しています。

次に14ページ③仕事と生活の調和に関する支援では、これまでの支援に加え①のネウボラの推進を進めることで仕事と子育てができるような支援を実施していきます。

ネウボラとは出産から就学前までの子育てに関する支援を一括して実施できる事業であります。本市では就学前までではなく、学童期までを一括して実施するみよし市版ネウボラ事業を展開しております。

③の基本的施策のKPIにつきましては、特にネウボラの推進の施策進捗の確認に適した指標になりますが、「産後ホームヘルプの利用者数」、「産後ケアの利

用者数」、「要支援者の支援プラン作成者数」などと考えているので、主にそちらの指標を設定しております。

以上が基本目標Ⅰの説明になります。

次に基本目標Ⅱ 暮らしたいと思える環境づくりの説明をいたします。

基本目標の数値目標は「転入・転出人口比率」と「生産年齢人口比率」を設定しています。

住んでみたい、住みやすい環境の整備を考えると、この2つの数値を上昇させることが施策の充実度を図るのに適している考え、基本目標Ⅱの数値目標として設定しました。

この基本目標の基本的施策としましては、16ページ①多様な世代を誘引する仕組みづくり、17ページ②公共交通ネットワークの確保、18ページ③安全・安心なまちづくり、④魅力と活力のあるまちづくりの4つをそれぞれ位置づけしています。

16ページ①多様な世代を誘引する仕組みづくりでは、これまでの支援に加え、空き家対策や低未利用地の解消などをすることや雇用に関する支援をすることや、ベンチャー起業家への支援をすることで様々な世代に対して魅力のある支援を実施していきます。

①のK P Iにつきましては「起業者数」と「就労者数」の2つを設定しています。特に就労者数に関しては、本市にジョブサポートセンターがありますので、そちらで相談を受け、支援することで雇用に繋げていきたいと考えています。

特に雇用に対しての充実度を図るうえで重要な目標値であると考えています。

17ページ②公共交通ネットワークの確保では、市内における公共交通相互間の乗継や利便性を高めることやM a a Sの推進により公共交通の利用環境向上を推進します。

なお、M a a Sにつきましては、冊子の最後の用語解説に記載していますが、内容としましては、「M o b i l i t y A s A S e r v i c e (モビリティ・アズ・ア・サービス)」の略であり、情報通信技術を活用することにより、あらゆる交通手段による移動を1つのサービスとして捉えることであり、移動をスムーズにする考え方があります。

そういった移動の利便性を向上することにより住みやすさに繋げていきたいと思えます。

数値目標につきましては、資料のとおり公共交通機関の利用者数が適していると考えています。

18ページ③安全・安心なまちづくりでは、あらゆる自然災害や犯罪、交通事故のないまちを目指します。

取組内容ではこれまでの支援に加え、①新しい生活様式を踏まえた避難所の設営などを実施することで、緊急時でも本市であれば安心であるというPRができるような事業を実施し、暮らしやすさに繋げていきたいと考えています。

③のK P Iにつきましては、資料のとおり「火災」、「事故」、「犯罪」が少なければ安全・安心に暮らせると考えられるので、それを数値目標としています。

19ページ④魅力と活力あるまちづくりでは、その他、様々な魅力を発信することにより、シビックプライドを高めることで新たな魅力の発見や市民個人が本市の魅力を感じてもらうことにより社会減の抑制につなげます。

取組内容では、④ふるさと納税やシティプロモーションなどを推進することで、関係人口や交流人口を拡大することや、⑦柿、梨、ブドウを始め多くの農産物を活用し6次産業化を進めるなど魅力の向上に努めます。

④のK P Iにつきましては、「観光客数」、「ふるさと納税の寄附件数」を設定しています。本市に興味がある人を数値で図るには適して指標であると考えております。なお、観光客数につきましては、総合計画で3大まつりの来場者数と定義していますので、本戦略の数値につきましてもそちらで進捗を図っていききたいと思っております。

最後に基本目標Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくりの説明をいたします。

基本目標の数値目標は「健康寿命」と「成人のスポーツ実施率の割合」を設定

事務局	<p>しています。</p> <p>この2つの数値を上昇させることが施策の充実度を図るのに適している考え、基本目標Ⅲの数値目標として設定しました。</p> <p>特に成人のスポーツ実施率を高めることが、個人が生涯にわたって健康づくりを進めていく土台となり、将来的に健康寿命の延伸につながると考えられるため目標として設定しています。</p> <p>この基本目標の基本的施策については、21ページ①健康づくりの支援 22ページ②生涯活躍できるまちづくりの2つを位置づけしています。</p> <p>21ページ①健康づくりの支援では、①愛知県が運用する健康アプリの活用やスポーツ習慣のきっかけを促すチャレンジデーを実施することにより、健康づくりをより一層推進し、また、⑤成人を対象としたスポーツ教室を実施することで、スポーツのきっかけづくりを実施します。</p> <p>①のK P Iにつきましては、資料のとおりであります。特に健康アプリ登録者数を増やすことで、健康づくりの推進の指標としていきたいと思っています。</p> <p>22ページ②生涯活躍できるまちづくりでは、生涯学習講座をはじめとする様々な事業を実施することで、誰もが活躍できる環境づくりに取り組みます。</p> <p>②のK P Iにつきましては、認知症サポーターの登録人数とし、特に高齢者についての活躍の場を数値として設定することで、施策の推進を図っていきたいと考えています。</p> <p>10ページから22ページまででそれぞれ基本目標と基本的施策について説明をしました。今回説明した以外にも取組内容を記載しておりますので、それぞれのお立場での意見や追加した方がよい取組内容や、内容の修正、加筆などがあればご教示いただきたいと思ひます。</p> <p>23ページお願いします。</p> <p>10ページから説明をさせていただきました基本目標、基本的施策、取組内容を体系として整理したものになります。</p> <p>ご確認いただきたいと思ひます。</p> <p>次24、25ページお願いします。</p> <p>ここにはSDG sのあるべき姿とウェディングケーキモデルを記載しています。</p> <p>SDG sでは2030年のあるべき姿を想定し、推進を進めていくことが重要であると言われていひます。本市のあるべき姿というのひは、第2次総合計画の将来像に繋がるものであると考えておりますので、SDG sを推進するうえでのあるべき姿につきましては「みんなで育む笑顔輝くずっと住みたいまち」にしたいと考えております。</p> <p>また、ウェディングケーキモデルは「経済」「社会」「環境」の関係性が良くわかるということで、SDG sの説明する際によく使われていひます。</p> <p>25ページ資料の中段の説明文とおり、「経済」の発展は生活や教育などの社会条件によって成り立ち、「社会」の人々が生活するために必要な「自然環境」によって支えられていひることを表していひます。</p> <p>長々と資料の説明をさせていただきましたが、第2期総合戦略に位置づけをする10ページから22ページまでの取組を実施することで、人口ビジョンで設定した2038年に65,000人を目指していひます。</p> <p>本日出席いただきました皆さまにつきましては、本市の取組内容について、皆様のお立場でのご意見や設定したK P Iにつきましては、修正した方がよい部分や追加した方がよい部分につきましてご意見いただきたいと思ひます。</p> <p>以上で資料2の説明を終わります。</p>
村田政策推進部長	<p>今、資料につきまして事務局から説明がありました。</p> <p>特に第1期の検証を踏まえ8ページに第2期総合戦略の方向性を記載し、9ページに基本目標を記載してあります。</p> <p>まずは、1ページから9ページまでで何か意見はありますか。</p>
阿部委員	<p>満足度の結果が目標値に到達しておらず、平成26年の実績値も上回らなく、下がっているという状況となっております。原因はいろいろあるかと思ひますが、ど</p>

	のような要因があったかと評価されていますでしょうか。
事務局	令和元年度の数値ですが、総合計画の施策体系がわかりにくかったということで、伝わりにくかったことが一つの要因として、満足度が下がったと思われます。
阿部委員	分かりやすくなればと言うことですが、満足度が3割台という項目があり、やはり低いと思いますので、非常に重要なポイントになるかと思えます。各方面の当事者としては、ここが良くなかったということがあるかと思えます。
加藤委員	コロナ禍の影響などがKPIに影響しているかと思えます。例えば、外出が減り交通事故の件数は減っている、しかし、バスの利用も減っている。評価を行うにあたって、コロナ禍の影響を見ておく必要があるかと思えますので、考えがあれば教えてください。
事務局	KPIの考え方について、コロナ禍の影響をどのように見ていくかについては、汎用性のある指標にしておりますので、だれもが分かりやすい指標としております。コロナ禍の影響についても考えていきますが、考え方があればお教え頂きたいと思えます。
鱒部委員	安全で安心なまちづくりについて、10年くらい前までは、住みたいまちでランキング1位でしたが、今は落ちています。この状況は、みよし市は、まだまだ実行すべきことがあることを意味していると思えます。まずは、道路について、特に、歩道が良くない状況となっています。また、商工については、みよし市にはホテルがなく、銭湯もない状況です。それから、子育てにも力を入れて頂いているかと思えますが、もう少し具体的な施策が必要かと思えます。
阿部委員	子ども子育てについてですが、みよし市の保育園は、何時まで預かって頂けるのでしょうか。18時だと厳しい状況でして、共働きの人が仕事から帰宅した後も対応できる時間なののでしょうか。それから、不妊治療についてなど、充実している病院などがあるかが重要と考えますので、KPIに入れるかどうかは分かりませんが、このような施策の充実が選ばれるまちになるかと思えます。
事務局	保育園は10か所あります。19時まで行っており、一部、特別保育を行っており、申請して頂くと22時までや、24時間というのもあります。小学校の児童クラブも19時まで行っています。不妊治療については、調べて回答いたします。
阿部委員	名古屋市や豊田市へみよしの駅を利用して通勤する人が、保育園に預けていくことができる立地なのかどうかとも重要と考えます。
事務局	みよしの駅の近くには2園ありまして、始まりは7時30分となっております。
岡澤委員	参考資料2について、結婚・出産の希望に関する支援の項目がなくなっているのので、これについて考え方を教えてください。
事務局	第2期の中では、子ども・子育てに関する支援に組み入れさせて頂いていると考えております。
岡澤委員	出会いの場の評価がCでしたので、2期でも採用していただければと思えます。
事務局	男女の出会いの場について、当時、まちコンなどのブームもあって商工会とも実施してきましたが、現在としては、違う形での支援もあるかと思え考えました。
加藤委員	新しい生活様式を踏まえて、出産されたお母さんに対しても心のケアなどを考えて頂けましたらと思えます。
事務局	14ページにありますように、KPIで産後ケアも挙げさせて頂いておりますので、アピールしていけたらと思えます。心のケアについては、数値だけではなく、取組についても充実できればと思えます。
村田政策推進部長	続きまして、基本目標Ⅱにつきまして確認したいと思えます。15ページから19ページまでで何か質問はございますか。
竹内委員	p16の起業者への支援ですが、大学でも様々な取組を行っておりますので、うまく活用ができると良いと思えます。また、p19の魅力と活力のあるまちづくりでは、シビックプライドに関するKPIがあっても良いのではないのでしょうか。

事務局	大学とも連携していますので、情報共有しながら進めたいと思います。また、シビックプライドについては、みよし産農産物などを、市民から市外の人に対して情報発信するような機運を向上させることが必要と考えております。
岡本委員	p18の安全・安心なまちづくりの指標ですが、火災、事故件数、犯罪発生件数ですが、事業評価の取組内容なので、事業に直結する、道路整備や防犯カメラを何台設置するなどかの指標の方が良いと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	市が主体となる指標について検討して追加させて頂くことを検討します。
鰐部委員	防犯パトロールがどのくらい増えたとかの指標が良いと考えます。区長のときに犯罪があったのですが、事件発生から、2時間後に警察が来ました。これではよくないと思いますので。防犯カメラの指標があると良いと考えます。
事務局	岡本委員からの意見も含めて、検討していきます。ご意見ありがとうございました。
加藤委員	関係人口を増やしますということについて、④のみとなっておりますが、様々な施策が関係人口の増加につながるの、書き方を工夫されると良いと思います。
阿部委員	K P I の指標を選ぶにあたっては、集めやすい指標を選んでいるのかと思い、取組内容との関連が薄いように思います。p17のMa a Sについてですが、さんさんバスについては、あまり評価が良くないように思いました、豊田市さんはハモを行っており、みよし市さんにも乗入れということを検討されているようですので、指標が利用者数だけで良いのか疑問です。そして、p16コワーキングスペースもどこに作るのか。それに合致したK P I も必要と思います。
事務局	1点目、取組内容とK P I の関連性について、つながりが持てるようにと工夫をしたいと思います。2点目、さんさんバスやMa a Sについてですが、まずはさんさんバスの再編を軸として考えたいと思います。それを踏まえた上で、Ma a Sなどを考えていきたいと思います。3点目としてコワーキングスペースとして、まだ設置まではいかないですが、新しい生活様式を踏まえた施策として考えています。
阿部委員	評価指標については、取得可能な数値と、取得不可能な数値があることは理解していますので、少し検討頂ければと思います。
村田政策推進部長	次に、基本目標Ⅲにつきまして確認したいと思います。20ページから23ページまでで何か質問はございますか。
阿部委員	お年寄りの健康について、食生活が重要と考えますが、日常的に買い物ができなくなる買い物難民の解消をどのように考えていますでしょうか。
事務局	基本目標Ⅱとも関連していくかと思いますが、公共交通の利便性を向上させることや、食育を充実させてなど併せて地域での助け合い、暮らすことのできる地域包括ケアシステムの構築などにより、認定率の発生を抑えることに繋がることを期待しています。
阿部委員	移動販売のように、住宅へお店が巡回するという施策があっても良いのかなと思います。また、東海学園大学や企業と連携してという施策があっても良いと思います。そして、歩くということもキーワードとしてあるかと思ひまして、散歩して楽しいまち、防犯カメラの設置も行いつつ、散歩したいまちを目指すというのはどうでしょうか。
事務局	p21の取組内容で「⑥の良好な運動環境づくり」もありますので、細かな取組内容の検討を行います。
村田政策推進部長	最後にSDG sに関する取組につきまして確認したいと思います。24、25ページで何か質問はございますか。 特に無いようですので、全体を通して何かご質問等がありますか。他に意見などが無いようでしたら意見があった部分については、事務局で整理をさせていただきます。

	きます。
典 礼 富田課長	<p>お疲れ様でした。</p> <p>今後のスケジュールですが、本日の意見を踏まえ修正した素案をパブリックコメントにかけて市民からの意見を集約する予定です。意見を踏まえて最終の素案を作成し、年明けに「第3回みよし市まち・ひと・しごと創生会議」を開催したいと思います。素案を最終的に出席者の皆様に確認をしていただき、3月に第2期総合戦略を策定したいと考えております。よろしくお願いいたします。本日は長時間にわたり大変お疲れ様でした。</p> <p>以上をもちまして、「令和2年度第2回みよし市まち・ひと・しごと創生会議」を終了いたします。（ご起立ください。一同礼）</p>